

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	建築構造・設備実習 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名	建築構造・設備専攻		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	構造：高見澤孝志　／　設備：藤原正城			実務経験の有無・職種	有・構造設計／設備設計　一級建築士		
学習目的							
この科目を受講する学生は、建築の【構造】分野と【設備】分野の考え方や能力が求められることを意識できるようになる。各自の興味や将来像の希望から建築構造・設備の専攻を選択し、構造設計に必要な基礎的な知識、設備設計の図面の描き方を通して、習得することがねらいである。							
到達目標							
【構造】	前期で作成した構造模型をもとにして、違う種類の構造図を作成することにより理解を深める。						
【設備】	前期で学んだ建築設備図の基本知識を基に、異なる規模・用途の建築物の設備図を作成することにより理解を深める。						
教育方法等							
授業概要	【構造】	構造模型をもとに自ら図面を製作する過程で、構造材のサイズ等を読み解き学ぶ。 構造材のサイズの決定の仕方を学ぶ。					
	【設備】	設備図を自ら制作することにより、問題点等をクリアし理解を深める。					
注意点	【構造・設備】	(1) 毎回教科書、資料などを必ず持参すること。このプリントも持参のこと。 (2) 製図道具、制作用の道具などを持参すること。 (3) 出欠状況は各自で管理すること。(手帳やノートに記録する。) (4) 授業時数の 3／4 以上 出席しない者は、不合格とする。					
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	出席状況	20%	段階的に学習しているものとして評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	【設備】給排水衛生設備			屋外給排水設備の設備図作成			
2回	【設備】給排水衛生設備			屋内給排水設備の設備図作成			
3回	【設備】電気設備			照明計画及び設備図作成			
4回	【設備】電気設備			コンセント計画及び設備図作成			
5回	【設備】電気設備			弱電設備の設備図作成			
6回	【設備】電気設備			分電盤の系統図			
7回	【設備】空調設備			ビル用マルチエアコンの系統図及び設計			
8回	【設備】換気設備			シックハウス対策：24時間換気設備 設計			
9回	【構造】構造図作成			オリエンテーション、構造に関するレクチャー（1）、構造図制作(基礎伏図) ①			
10回	【構造】構造図作成			構造図制作（1階床伏図）②			
11回	【構造】構造図作成			構造図制作（小屋伏図）③			
12回	【構造】構造図作成			構造図制作(軸組図) ④			
13回	【構造】壁量計算			構造(壁量計算)に関するレクチャー（2）、レポート課題			
14回	【構造】壁量計算			壁量計算			
15回	【構造】講評			講評、構造に関するレクチャー（3）			